

学報

2016 年 5 月 Vol. 705



入学式（4 月 7 日）

平成 28 年度岐阜大学入学式及び岐阜大学大学院入学式を挙行	01
「研究推進・社会連携機構 微生物遺伝資源保存センター」の開所式を実施	07
応援奨学生決定通知書交付式を実施	08
平成 28 年度第 1 回学長記者会見を実施	09
海外留学フェアを開催	10
文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ （連携型）」トップマネジメントセミナーを開催	11
高機能 ASD 大学生に対する就労を視野に入れた支援の試み FD・SD 研修会を開催	12
寒剤・高圧ガス取扱講習会を開催	13
平成 27 年度岐阜大学 TOEIC スコアアッププロジェクト認定証交付式を実施	14
叙位・叙勲	15
表彰受賞者	16
産官学連携の実施状況	17
外国人研究者の受け入れ	18
メディア掲載一覧	19
諸会議	22
主要日誌	24
人事異動（学内限定）	25

平成28年度岐阜大学入学式及び岐阜大学大学院入学式を挙行

岐阜大学入学式を、4月7日（木）10時30分から、また岐阜大学大学院入学式を、同日9時15分から、それぞれ長良川国際会議場において行った。

学部入学生への告辞で森脇学長は「新入生諸君には、どのような分野、対象であれ「広く日本社会にも、国際社会にも貢献できる人材になる」という志を抱いて頂きたい」、大学院入学生には「将来それぞれが所属される場における職務に相応しい貢献ができる、またグローバルな貢献ができる高度職業人として大学院を卒業されることを期待する」と新入生を激励した。入学者数は、次のとおり。



【学部】

教育学部	253名		
地域科学部	110名	地域科学部3年次編入学	11名
医学部	190名	工学部3年次編入学	46名
工学部	538名	応用生物科学部3年次編入学	11名
応用生物科学部	202名		
		計	1,361名

【大学院】

教育学研究科修士課程	57名
教育学研究科教職大学院課程	17名
地域科学研究科修士課程	18名
医学系研究科修士課程	4名
医学系研究科博士前期課程	9名
医学系研究科博士課程	37名
医学系研究科博士後期課程	2名
工学研究科博士前期課程	315名
工学研究科博士後期課程	10名
応用生物科学研究科修士課程	98名
連合創薬医療情報研究科博士課程	6名
計	573名

平成28年度岐阜大学入学式 学長告辞

新入生の皆さん。入学おめでとうございます。本日、1,361名の平成28年度入学者をキャンパスに迎えることは、私どもにとってこの上ない喜びであり、岐阜大学教職員を代表して心から歓迎します。入学の喜びと勉学の意欲に燃える皆さんのフレッシュさを私どもも頂戴し、一緒に新たな勉学の場につくことができるという嬉しい気持ちで一杯です。またこの場をお借りして、今日まで諸君を支えて下さった皆様方にも衷心よりお祝い申し上げます。

さて告辞を始めるに当たりまず、大学における学修とは何か、また大学生として心がけて頂きたいことは何かを幾つか申し上げます。

まず勉強の仕方がこれまでとは全く違うことをしっかり認識して下さい。高校までは学校でした。今日からは大学です。これまでは授業でした。今日からは講義です。諸君もこれまでは生徒でした。今日からは学生です。ではどこが違うのか。これから諸君が学ぶのは既存の学問体系に加え、教授陣が個別に血の出るような努力を重ね築いてきた、個性的な自然科学体系であり、人文科学体系であり、社会科学体系です。諸君はそれらを学んだ上で、自分自身の科学体系を、すなわち物事の考え方を独自に構築していく、これが大学での勉強になります。

そのような勉強を行う上では基礎的な素養が不可欠であり、それらを修めた上で大学における本来の高等教育、高度専門教育を受けるものとされます。これがリベラルアーツであり、たとえば欧米の古い図書館などでホールの上空高く羽ばたく7体の女神像で現されます。極めて古典的な用語を用いれば修辞学、文法学、天文地理学、論理学、代数学、幾何学、芸術の7つと、全体を統括する哲学です。もちろん現在これらを直接標榜する科目は少ないでしょうが、高度専門教育と合わせ、リベラルアーツも修めるという目標を心がけて下さい。次に述べる社会人としての存在そのものの根幹になります。

すなわち、諸君はすでに選挙権を有する社会人であり、**lady**あるいは**gentleman**です。大学における勉学はそのような社会人として自分の責任においてなす行動です。大学の新入生としてキャンパスに入った段階で、私どもはもちろん、社会も諸君を**ladies and gentlemen**として見、また期待をします。大学とそのあとに続く社会で諸君は**lady**あるいは**gentleman**であるべく、あらゆるチャンスをとらえ努力を積み重ねていってほしいと思います。

次にテーマを変え、岐阜大学の歴史を紹介し、少し自慢させて頂いた上で、皆さんが卒

業し、社会で中堅として活躍するに至る、ほぼ10年先までの大学の将来計画を申し上げます。岐阜大学の創立は受験資料などでは1949年になっています。しかしそれぞれの学部は古い由来を持ち、中でも教育学部の前身である岐阜師範学校は明治7年、1873年の創立で先年140周年の記念式典が行われました。ここまで遡ると我が国で4番目に古い大学として位置づけられています。ソフト、ハード両方のアーカイブが学内のみでなく市内にも残されていますので、何れ探訪して頂くことも面白いかと思います。

次に10年先、2025年を見据えた岐阜大学の将来ビジョンが式次第に折り込んでありますのでご覧ください。最も大事なストーリーをお話しします。まず岐阜大学は「地域活性化の中核拠点であると同時に、強み・特色を有する分野において全国的・国際的な教育・研究拠点の形成」を目指します。折り込みにある大きな円柱がそのための5大戦略であり、それぞれの下に具体的な取り組みが記されています。自分が所属する学部の将来ビジョンを後ほど確認して下さい。なお国際的・全国的な教育・研究拠点として、私どもはすでに生命科学分野、環境科学分野、次世代金型・複合材料研究分野、医学教育開発分野を宣言し、さらに続く分野を構築中です。

今日はとくに「地域活性化の中核拠点」と「国際貢献」という観点の連携についてお話しします。私ども岐阜大学が理念とする「地域」はたとえば県や市、中部地区にとどまるものではもちろんなく、全国さらにはグローバルな貢献の発射台となる広さという概念です。またグローバルという場合の対象も漠然と全世界を言うのではなく、例えば岐阜という一地域と海外の一地域との連携を具体的に想定したものであり、新しいタームである「グローバル」という用語を用いて表現するのが、最も相応しいと思います。またその活動も双方の地域における需要に対応したものでなければなりません。そのためには教職員、学生が一体となって日本の、世界の要望にそぐう課題探求と課題解決に邁進する必要があります。従って学外へ、さらに世界へ出て行くことが重要かと思います。特に新入生諸君には、どのような分野、対象であれ「広く日本社会にも、国際社会にも貢献できる人材になる」という志を抱いて頂きたいと願います。

この観点から申し上げますと、岐阜大学の海外協定大学は46に及び、年間600名を超える外国人学生あるいは研究者が滞在し、キャンパスにはいつも300～400名の外国人留学生がいます。皆さん英語は今日の新入生程度には話して下さいますし、日本語の上手な方も少なくありません。せっかくのチャンスですからどんどん国際的な交流に努めて下さい。また皆さん自身も出来るだけ早い機会に海外への飛躍にも挑戦して下さい。本学からは既に学部学生の段階で国際的な研究コンテストにチャレンジし、入賞する学生が輩出されつつあります。岐阜大学には、学生のこのような海外挑戦を支援する仕組みがかなり充実しています。

最後に私ども教職員自身の覚悟も申し上げます。岐阜大学は先に述べた理念を実行出来る人材を育てる場です。教職員自身も常に自分がそうであるべく、新入生諸君とともに努力を重ねるのは当然です。ともによき大学人であるべく手を携えて進んでいきましょう。

以上、今日からのキャンパスライフを大いに充実したものとし、また楽しんで下さいと申し上げ、告辞を閉じます。

本日は、おめでとうございます。

平成 28 年 4 月 7 日

岐阜大学 学長 森脇久隆

平成28年度岐阜大学大学院入学式 学長告辞

岐阜大学大学院へのご入学おめでとうございます。本日、631名の平成27年度大学院入学者を迎えることは、私どもにとってこれ以上ない喜びであり、岐阜大学教職員を代表して心から歓迎します。さらにこの場をお借りして、大学院進学に至るまで皆さんを支えて下さった保護者の皆様、諸先輩方にも衷心よりお祝い申し上げます。

さて岐阜大学には5つの大学院前期課程、2つの大学院後期課程に加え、岐阜大学を基幹校とする3つの連合大学院があります。連合大学院のうち本日は岐阜薬科大学と構成される連合創薬医療情報研究科入学の皆さんが、教職大学院入学の社会人の皆さんとともに出席されています。

私ども岐阜大学は「人が育つ場所」を謳っています。私どもの側から申し上げると人を育てる場所です。ではどういう人材を大学院で育てたいのか？「学び究め貢献する」ことができる人材です。強調したいのは貢献です。地域貢献という言葉がすぐ浮かぶかと存じますが、私ども岐阜大学の理念における「地域貢献」はたとえば県や市、中部地区にとどまるものではもちろんなく、全国、さらにはグローバルな貢献まで視野に入れたものです。また民間企業や自治体などから何らかの要請を受けて大学院に進学された入学者も少なくありません。そのような方は特にそれぞれが所属される場における需要に対応した貢献ができる高度職業人として大学院を卒業されることがあらかじめ期待されています。大学院入学者は学部卒とはまた異なった高度機能が要求されているわけで、「学び究める」内容もおのずから到達目標が規定されるものと思います。

私自身が身近に経験した友人を例にお話ししましょう。彼は某大学の農学部から修士課程に進学、バイオの化学合成と植物生命現象の基礎をしっかりと学びました。卒業後、某企業に就職、農薬合成の研究所に配属されました。彼はその後、博士課程を社会人大学院生として卒業、40歳を過ぎてブドウ栽培とジャガイモ栽培に用いる農薬の創薬に成功、50歳前後は月に2~3回それをもって海外出張というビジネスマンとして大活躍、現在は研究所に戻り後進の指導に当たっています。大学院での学習がその後に直結した大変幸せな例ですが、ここで学び取ってほしいことは、勉強の成果が大学院卒業時にすぐ出るものではなく、社会貢献として還元できるまでには大学院卒業から就職を経て合計20年くらいはかかるということです。また高度職業人として将来生きていくうえで、大学院では何を身に付けておくかも、十分考えて下さい。私共岐阜大学の教職員は何時でもそのような相談に応じるべく用意が出来ているつもりです。

一方で、博士前期課程修了後、コースによっては後期課程への進学も大変魅力的な進路

です。これは特に研究者を志望する方々が対象になります。ノーベル賞級の研究成果が多くは30歳前後で出ていることは事実であり、研究者を駆り立てるのは、どのような分野であれ、夢のような発想です。そのような夢が自然科学、社会科学の様々な分野でブレークスルーを生んできました。先に申し上げたこととは相いれないと感じられる方がいるかと思いますが、どのような勉強であれ持続こそが力です。持続をもたらすモチベーションを生む要因の一つが夢です。高度職業人として自分の将来をしっかりと見つめる、あるいは研究者を志向し、しっかりと夢を持ち続ける、そんな大学院生として岐阜大学を楽しみ、かつ利用して頂ければと思います。

今日から諸君と一緒に送る大学生活を大いに楽しみにしていると申し上げ、学長告辞とします。

有難うございました。

平成28年4月7日

岐阜大学 学長 森脇久隆

「研究推進・社会連携機構 微生物遺伝資源保存センター」の開所式を実施

本学では、これまで微生物系統保存・分譲業務を行ってきた「医学系研究科病原微生物遺伝資源保存センター」を組織改編し、平成28年4月1日付けで岐阜大学研究推進・社会連携機構内に微生物株の保存センターとして、新たに「微生物遺伝資源保存センター」を医学部本館7階に設置し、4月6日（水）に開所式を行った。

今後も保有微生物遺伝資源を維持し、保有微生物株の分譲及び付随する遺伝情報を提供すると共に、グローバル化した社会のニーズに即した研究及び産業応用に資する微生物遺伝資源の一層の利用促進を図り、国際的にアピールできる系統保存事業の展開を計画していくこととしている。



看板を掲げる関係者（左から福士機構長，江崎名誉教授，田中センター長）

応援奨学生決定通知書交付式を実施

4月8日（金）に、平成28年度岐阜大学応援奨学生決定通知書交付式を実施した。

岐阜大学では、創立60周年を契機に立ち上げた岐阜大学基金による事業の一環として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となる学生に奨学金を支給することにより、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的に、応援奨学生の制度を実施している。

交付式では、森脇学長から応援奨学生一人ひとりに通知書が手渡され、「これを機会に、さらに勉学に励み、有意義な学生生活を送ることを期待します」と挨拶があった。

応援奨学生を代表して、地域科学研究科のSUO TA JIさんから「“応援奨学生”の制度が、現職の教職員、OB、一般社会からの寄附によって成り立っていることを忘れず、いただいた奨学金を最大限有効に活用し、学業に専念していきたい」と抱負が述べられた。

平成28年度は、合計25名の応援奨学生が誕生した。



決定通知書交付を受ける学生



奨学生を前に挨拶する森脇学長



抱負を述べるSUO TA JIさん



集合写真

海外留学フェアを開催

4月20日(水)、全学共通教育棟103教室にて海外留学フェアを開催した。

当フェアは、交換留学や短期間の海外派遣プログラムに関する情報を提供し、留学の促進を図ることを目的として平成24年度より毎年実施している。今年度は新入生をはじめとする約70名の学生の参加があった。

冒頭、鈴木文昭 グローカル推進本部長の挨拶の後、各協定大学との交換留学や奨学金制度について担当者より説明があった。続いて、留学生センター、教育学部、工学部及び名古屋大学が長期休暇期間に行う短期間の海外派遣プログラムについて、各担当の教職員より紹介があった。

その後、昨年度短期派遣プログラムや「トビタテ！留学JAPAN」によりハンガリー、オーストラリア、カナダに留学した学生計4名が、自身の留学体験について発表があった。加えて、今年度は公益財団法人 日本英語検定協会の担当者より、IELTS（留学に必要な英語力を測るためのテスト）についての説明があった。

参加者は、留学経験者や各担当者の話に熱心に聞き入り、説明終了後も発表者に個別に質問をする姿が見られるなど、留学への関心の高さが伺えた。

今後もこうした情報提供・相談の機会を積極的に設けていくこととしている。



工学部4年 荒川華恵さんによる、ハンガリーでの短期研究留学についての発表の様子

平成28年度第1回学長記者会見を実施

4月20日（水）に、平成28年度第1回学長記者会見を実施した。

会見ではまず、森脇学長が「工学部社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）資格」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて概要を説明した。

続いて、本学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 沢田センター長より、詳細説明があった。

本学では2008年度より、社会人を対象として「社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座」を開講している。本講座では、橋やトンネルといったインフラの亀裂や変形などのメンテナンスに必要な知識・技術を身につけたエキスパートの養成を行っており、修了者にはME資格の認定を行っている。

ME資格を持つ技術者を養成することで、今後も岐阜大学は地域活性化に貢献していくこととしている。



説明する森脇学長



説明する沢田センター長

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」トップマネジメントセミナーを開催

4月21日（木）、岐阜大学講堂において文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」トップマネジメントセミナーを開催した。

本セミナーは、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の一環として、連携機関である岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株式会社と共同で開催されたもの。

講師として文部科学省高等教育局企画官（併）高等教育企画課高等教育政策室長の伊藤史恵氏を迎え、「高等教育政策の動向について～女性研究者の活躍推進も視座に一」と題して講演が行われた。講演では豊富な統計データを基に、高等教育政策の現状、政策の中で女性研究者活躍推進事業の占める位置、岐阜大学に期待することなどが説明され、参加者は熱心に聞き入っていた。

本学の教職員をはじめ、連携機関から教職員や研究者、経営を担うトップマネージャーら約120人が参加し、参加者からは「最新の政策動向を整理することができ、その中で岐阜大学の位置づけが明確になった」、「企業として参画する際、どのような貢献方法があるか具体的にご教示いただき、参考になった」などの感想が寄せられた。



講演する伊藤企画官



進行する林多様性人材活力推進担当副学長と会場の様子

高機能 ASD 大学生に対する就労を視野に入れた支援の試み FD・SD 研修会を開催

4月25日(月)、教育推進・学生支援機構は山口大学教育学部教授で学生特別支援室顧問の木谷秀勝氏を講師に迎え、『高機能 ASD 大学生に対する就労を視野に入れた支援の試み』をテーマに FD・SD 研修会を開催した。

当日は教職員及び学生の他、学外の聴講者を含め計 63 名が参加し、高機能 ASD (高機能自閉症スペクトラム症) の学生の支援について理解を深めた。

江馬機構長(教学担当理事)の挨拶に続いて木谷氏の講演が行われ、その中で木谷氏は高機能 ASD の学生への支援の重要性に触れ、具体的な特徴や児童期から支援を受けてきた学生と支援を受けなかった学生の違いを紹介し、自己肯定感が高まるよう周囲の理解の重要性も唱えた。また、これまでの山口大学での取り組み、支援体制、木谷氏が実施した宿泊合宿での実際の支援事例写真を交えながら解説し、一人ひとりの得意な分野を活かした支援をすることによって見られた成長の様子を紹介があった。

さらに木谷氏は、高機能 ASD の学生の多くが、困っていることをうまく伝えることが苦手で、大学の講義のほかに日常生活の中でも心身の疲労が強く、自分の限界に気づくことも難しいため健康を維持できないでいることにも触れ、大学時代に医師や看護師と連携し、心身の健康状態をこまめに診断してもらいながら、頑張るばかりでなくリラクゼーション(休憩)することも身につけ、コントロールできるようにすることで、将来の就労維持にもつながると強調した。

講演後には活発な質疑応答が行われ、障害学生支援室(通称サポートルーム)の土岐室長から謝辞と閉会の挨拶があった。



講演する木谷秀勝氏



会場の様子

寒剤・高圧ガス取扱講習会を開催

4月27日(水)、教職員・学生を対象に、寒剤・高圧ガス取扱作業に対する安全衛生教育講習会を実施し、310名の参加があった。

生命科学総合研究支援センター機器分析分野の近江靖則准教授及び応用生物科学部の西津貴久教授が株式会社巴商会の協力を得て、寒剤・高圧ガスを使用する際の作業方法および注意点について講習を行った。

今回で第6回目となる本講習会は、寒剤・高圧ガスに関する基礎知識の習得を目的としており、過去の事故例の映像等を通して、酸素欠乏症の恐ろしさについて受講者全員が真剣に学んだ。

また、工学部に設置されている液化窒素タンクの取り扱い操作について、作業の留意点を中心に安全教育が行われました。応用生物科学部での液体窒素の運搬方法についての講習も行われた。

本学では、今回の講習会で学んだ知識を今後の実験・実習で活用し、安全な実験環境の構築に努めていく。



近江准教授による講習



受講風景

平成 27 年度岐阜大学 TOEIC スコアアッププロジェクト認定証交付式を実施

4 月 27 日（水）、岐阜大学 TOEIC スコアアッププロジェクト認定証交付式を実施した。

本プロジェクトは、TOEIC テストにおいて 800 点以上を取得した一般職員（事務職員及び技術職員）に対して奨励金を贈呈し、さらなる研鑽を奨励するもの。

交付式では、鈴木文昭グローバル推進本部長より、平成 27 年度に認定された 9 名（施設環境部 1 名、学術国際部 2 名、学務部 2 名、医学系研究科・医学部 1 名、医学部附属病院 2 名、応用生物科学部 1 名）に認定証が交付された。その後、鈴木文昭グローバル推進本部長及び大野悦史学術国際部長を囲んで懇談が行われ、鈴木本部長及び大野部長からの激励の言葉の後、各職員がそれぞれの業務における英語を活用する機会や苦勞したこと等について意見交換が行われた。

本プロジェクトは、語学に堪能な職員を全学的に増やし事務の国際化とサービスの向上を図るため、若手事務職員からの提案を元に、平成 27 年度より開始した。今後も継続して実施する予定としている。



認定証交付後の様子

（前列中央：鈴木文昭グローバル推進本部長、前列中央左：大野悦史学術国際部長）

叙位・叙勲

元本学職員に対し、次のとおり叙位・叙勲があった。

故 元工学部教授 丸 山 清 史 氏
正四位 瑞宝中綬章（平成28年4月26日）

表彰受賞者

一般社団法人日本機械学会 学会賞

受賞者：川崎 晴久 工学部特任教授
業績名：ロボット分野の教育図書の出版
受賞日：平成 28 年 4 月 21 日

一般社団法人日本塑性加工学会東海支部 技術賞

受賞者：王 志剛 工学部教授
業績名：板鍛造の高度化によるトリプルカップ成形技術の開発
受賞日：平成 28 年 4 月 22 日

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成28年4月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	秋山 治彦	旭化成ファーマ(株)
医学系研究科	國貞 隆弘	ホーユー(株)
医学系研究科	森田 浩之	イセツト(株)
工学部	加藤 邦人	太陽化学(株)
工学部	河瀬 順洋	(株)ブラザーエンタープライズ
工学部	毛利 哲也	並木精密宝石(株)／(株)不二越
工学部	王 志剛	(株)ミクニ
応用生物科学部	北川 均	日清ペットフード(株)
応用生物科学部	千家 正照	独立行政法人 水資源機構
応用生物科学部	早川 享志	サンエイ糖化(株)
応用生物科学部	光永 徹	奥長良川名水(株)
応用生物科学部	矢部 富雄	(株)真誠
流域圏科学研究センター	景山 幸二	パナソニック(株)
流域圏科学研究センター	廣岡 佳弥子	月島機械(株)
次世代金型技術研究センター	吉田 佳典	日立金属(株)

○受託研究

(平成28年4月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	柴田 綾	国立研究開発法人 科学技術振興機構
工学部	高橋 周平	国立大学法人 北海道大学
工学部	柳瀬 俊次	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術 総合開発機構
工学部	柳瀬 俊次	国立大学法人 東北大学
応用生物科学部	上野 義仁	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
応用生物科学部	高島 康弘	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
応用生物科学部	二宮 茂	日本中央競馬会 競走馬総合研究所
連合創薬医療情報研究科	桑田 一夫	学校法人慶應義塾
連合創薬医療情報研究科	桑田 一夫	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
総合情報メディア アセンダー	篠田 成郎	岐阜県

外国人研究者の受け入れ（4月）

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
医学	チャン シャオナン 張 曉南 (中国)	大連医科大学 非常勤講師 Lecturer, Dalian Medical University	2016/4/1～ 2016/6/30	メカニカルストレスによる軟骨代謝のエピジェネティックレ ギュレーションに関する研究 Epigenetic regulation of cartilage metabolism by mechanical stress
工学	ロザ リンダ Roza Linda (インドネシア)	リアオ大学 教員養成及び教 育学部・講師 Lecturer, Faculty of Teacher Training and Education, Riau University	2016/4/1～ 2016/5/31	キャピラリー液体クロマトグラフィーにおける陽イオン分離の ためのポリ(エチレンオキシド)固定相の開発 Development of poly (ethylene oxide) stationary phases for the separation of cations in capillary liquid chromatography
応生	サドゥカーン アヤン Sadhukhan Ayan (インド)		2016/4/1～ 2018/3/31	統合ゲノムワイド関連解析による活性酸素シグナルとストレ ス耐性の解明に関する研究 Integrated GWAS for understanding complex regulation of ROS signaling and stress tolerance

メディア掲載一覧

○新聞

(平成28年4月分)

掲載日	新聞名	内容
4月4日	岐阜	◎夕閑帳:紅富士の回想 ～岩田弘敏 名誉教授～
4月5日	岐阜	◎研究室から大学はいま:「男女共同参画」進んでる? ～教育学部家政教育講座 大藪千穂 教授～
4月5日	中日	学生防災リーダー養成 岐阜大で講義, 他大生にも単位
4月6日	岐阜	日体協「スポーツ医・科学賞」春日岐阜大教授のグループが奨励賞
4月8日	読売	決意胸に入学式 公立校や岐阜大
4月8日	中日	多望の未来へ志胸に 岐阜大・大学院が入学式
4月8日	岐阜	学業専念, 1934人決意 岐阜大・大学院で入学式
4月12日	中日	◎研究室から大学はいま:微生物の力で減農薬に貢献 ～応用生物科学部生産環境科学課程 清水将文 准教授～
4月12日	中日	ケリー長官慰霊碑献花 米国人評価さまざま ～米国人留学生 マット・スタインハワーさん～
4月13日	朝日	岐論:世界遺産 どう活用する? 住民みんなで計画する機運作れるか ～地域科学部 林 琢也 准教授～
4月16日	岐阜	政治教育の意義とは 岐阜市で「哲学カフェ」 住民が意見交換 ～元岐阜大学教授 吉田千秋さん～
4月18日	岐阜	医師ら30人を岐阜県が派遣 ～医学部附属病院～
4月19日	岐阜	◎夕閑帳:バレエ音楽とソロ舞 ～岩田弘敏 名誉教授～
4月19日	岐阜	◎研究室から大学はいま:地元企業とのつながり強化 ～研究推進・社会連携機構産官学連携推進本部 細野光章 教授～
4月19日	朝日	熊本地震 支援広がる 各地からDMAT 熊本大の出身者も ～医学部附属病院～
4月19日	岐阜	米や簡易トイレ, 急げ 岐阜からの支援本格化 ～医学部附属病院～
4月20日	日本経済	キャンパス発この一品:ペットボトル入り番茶 学内の地下水で甘味引き出す ～応用生物科学部4年 森明日香さん～
4月21日	岐阜	監事に片桐氏 岐阜大人事
4月21日	岐阜	岐阜大養成の社会基盤技術者 国交省資格に登録 社会人対象 国道点検業務で優遇 ～附属インフラマネジメント技術研究センター長 沢田和秀 教授～
4月22日	中日	25日に岐阜で現地視察報告 岐阜大教授ら ～工学部 能島暢呂 教授～
4月22日	毎日	全項目で同世代超え TKG体力測定 足踏み22歳に匹敵 ～教育学部 春

		日晃章 教授～
4月24日	朝日	減災・防災対策 改めて考えて ～防災減災センター 杉戸真太 センター長～
4月24日	岐阜	◎サンデーコラム:運動遊び, 成長に重要 子どもが活発になれる社会を ～教育学部 春日晃章 教授～
4月25日	岐阜	若者の政治参加考える 大学生, 野田議員と討論
4月25日	岐阜	◎教えてホームドクター:乾癬 生活に適した治療を ～医学部附属病院皮膚科 水谷陽子 臨床講師～
4月25日	毎日	きょう岐阜大で熊本地震報告会 ～工学部 能島暢呂 教授～
4月25日	岐阜	岐阜大, 商店街に研究室 工学部 まちづくり語り合う ～工学部 出村嘉史 准教授～
4月26日	岐阜	産官学金融, 連携探る 岐阜市と十六銀 地方創生でフォーラム ～地域協学センター 佐々木実 副センター長～
4月26日	岐阜	◎研究室から大学はいま:政治の教養は市民に不可欠 ～教育推進・学生支援機構 教養教育推進部門 篠原 新 准教授～
4月27日	岐阜	家庭に花の彩りを 岐阜大「春の市」苗を販売 ～応用生物科学部附属岐阜フィールド科学研究センター～
4月27日	中日	岐阜大生に被災語る 美濃加茂など実家へ避難 熊本大生の2人
4月27日	岐阜	災害時の自助・共助 指導者養成を推進 ～工学部 能島暢呂 教授～
4月27日	岐阜	◎夕閑帳:百折不撓と九転十起 ～岩田弘敏 名誉教授～
4月30日	岐阜	三菱自の不正を討論 岐阜大で新聞カフェ開始

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成28年4月分)

放送日	番組名	内容
4月11日	FM わっち「岐阜大学からこんにちは」 12:41～13:00	清流の国ぎふ防災・減災センター 小山真紀 准教授
4月18日	岐阜放送「Station!」 18:15～18:53	熊本の地震に関連し, 岐阜県の地震環境に関してコメント 防災減災センター 杉戸真太 センター長
4月18日	岐阜放送「Station!」 18:15～18:53	DMAT の派遣に関して 医学部附属病院
4月18日	NHK 岐阜「ほっとイブニングぎふ」 18:30～18:55	岐阜県に被害もたらす活断層による地震 防災減災センター 杉戸真太 センター長
4月18日	NHK 岐阜「ほっとイブニングぎふ」 18:30～18:55	災害派遣医療チーム被災地へ 医学部附属病院

4月24日	NHK 教育「サイエンス ZERO」 23:30～24:00	微生物から電気をおこせ！“発電菌”開発最前 流域圏科学研究センター 廣岡佳弥子 准教授, 市橋 修 特任助教
4月26日	NHK 総合「おはよう東海」7:45～ 8:00	廃水から電力を作る！次世代エネルギー開発 流域圏科学研究センター 廣岡佳弥子 准教授, 市橋 修 特任助教
4月27日	NHK 岐阜「ほっとイブニングぎふ」 18:30～18:55	熊本大学の学生さんを岐阜大学に招き、熊本地震 の状況について、「岐大生へ伝えたいこと」として報 告会を開催した様子を紹介 熊本・岐阜 学生災害支援団体の学生さん ほか
4月27日	NHK 岐阜「ほっとイブニングぎふ」 18:30～18:55	「中部ものづくり」のコーナーで㈱タナックとの共同 開発の様子などを紹介 医学部附属病院第一外科 木村真樹 臨床講師
4月27日	NHK 岐阜「ほっとイブニングぎふ」 18:30～18:55	微生物燃料電池のための新規触媒探索の研究に ついて解説 流域圏科学研究センター 廣岡佳弥子 准教授, 市橋 修 特任助教
4月30日	NHK 教育「サイエンス ZERO」 12:30～13:00	(再放送)微生物から電気をおこせ！“発電菌”開 発最前線 流域圏科学研究センター 廣岡佳弥子 准教授, 市橋 修 特任助教

◇ 第1回授業編成専門委員会

4月11日（月）

（審議事項）

1. 平成28年度授業編成専門委員会の開催日について
2. 平成28年度非常勤講師採用計画の一部変更について
3. 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について
4. 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について
5. 平成28年度前期放送大学に在学する特別聴講学生の受入れについて
6. 休業日の授業実施について

◇第524回 役員会

4月14日（木）

（議事）

1. 岐阜大学と福島大学とのクロスアポイントメントの実施について
2. 教育職員雇用申請について

◇ 第1回教学委員会

4月19日（火）

（審議事項）

1. 教学委員会委員長代理について
2. 岐阜大学教育推進・学生支援機構障害学生支援室細則等の制定及び改正について
3. 委員会の開催日について

◇第525回 役員会

4月21日（木）

（議事）

1. 役員会に附議する重要事項について
2. 教育職員雇用申請について
3. 特任教員雇用申請について

◇第147回 教育研究評議会

4月21日（木）13:30

（審議事項）

1. 学長選考会議委員の選出について
2. 経営協議会学外委員について

（協議事項）

1. 教員組織のあり方に関する中間報告について

◇第1回入学試験専門委員会

4月27日（水）

1. 委員長代理について
2. 平成29年度入試以降の入学者選抜の検討スケジュール(案)について
3. 平成29年度入学者選抜試験における情報処理日程(案)について
4. 平成29年度入学者選抜に向けた入試広報(案)について
5. 推薦入学Ⅰ・Ⅱ特別入試の出願要件の変更について
6. 医学部看護学科推薦入学Ⅰ特別入試選抜基準の一部改正(案)について
7. 医学部看護学科第3年次編入学者選抜基準の一部改正(案)について
8. 大学院工学研究科博士前期課程入学者選抜基準の一部改正(案)について

◇第526回 役員会

4月28日(木) 11:20

(議事)

1. 自然科学技術研究科の設置に関する書類の提出について
2. 教育職員雇用申請について
3. 特任教員雇用事前協議について
4. 懲戒処分事案について

主要日誌

月 日	行 事 名
4 / 7	平成28年度岐阜大学入学式及び岐阜大学大学院入学式
8	平成28年度岐阜大学大学院連合農学研究科・同連合獣医学研究科入学式
11	第1回授業編成専門委員会
13	教授会・研究科委員会(工) 看護学科・看護学専攻教授会議(医)
14	第1回部局長・部長会 第524回役員会
15	代議員会(連農)
19	第1回教学委員会
20	教授会・研究科委員会(教・地・応) 医学研究科・医学科教授会議(医)
21	第525回役員会 第147回教育研究評議会
27	教授会(メディア・流域・生命) 第1回入学試験専門委員会
28	第526回役員会